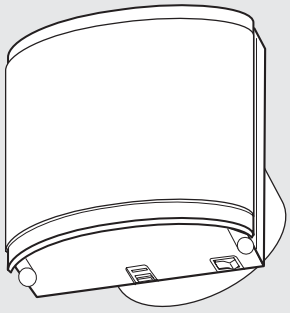
# 強制給気ファン強弱型

MAX®

## 居室用＜壁取付専用型＞

**VF-Q08E1G**　（高性能フィルター付）
**VF-Q08E1G/B**　（高性能フィルター付、ベージュ）



# 取付工事説明書　販売店・工事店様用

※別冊の「取扱説明書」はお客様用です。必ずお渡し下さい。

| 取付工事を始める前に | ●この説明書を最後までお読みのうえ、正しく安全に取り付けてください。<br>●取付工事は販売店様又は専門の工事店様が実施してください。 |
|---|---|

※ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくお使い頂き、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。また注意事項は、危害や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、誤った取扱いをすると生じることが想定される内容を「警告」「注意」の2つに区別しています。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。

| | |
|---|---|
| ⚠ **警告** | この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡又は重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。 |
| ⚠ **注意** | この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性及び物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。 |

絵表示の例

⃠記号は、禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。

●記号は、行為を強制したり指示したりする内容を告げるものです。図の中に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜いてください）が描かれています。

※お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。

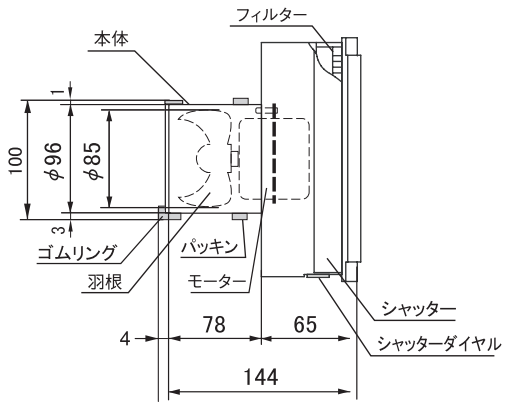
# 〈安全上のご注意〉

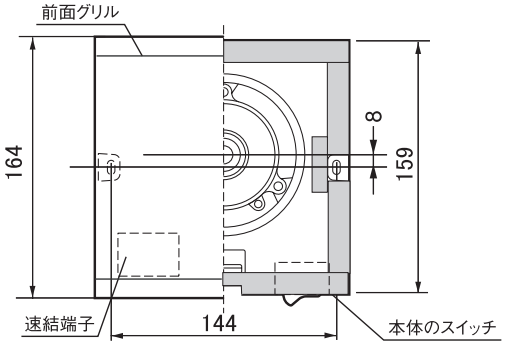
換気扇を正しく安全に取り付けるために、つぎのことを必ずお守りください。

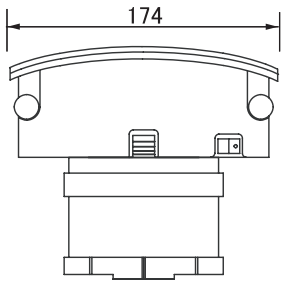
| ⚠ 警 告 | |
|---|---|
| | 修理技術者以外の人は、絶対に分解したり修理・改造は行わないでください。発火したり、異常動作してケガをすることがあります。 |
| | ガス漏れのときは天井扇のスイッチを入・切しないでください。スイッチの火花により爆発や引火の恐れがあります。 |
| | 水につけたり、水をかけたりしないでください。ショート・感電の恐れがあります。 |
| | メタルラス張り、ワイヤラス張り、または金属板張りの木造の造営物に金属製ダクト及び本体部が貫通する場合、金属製ダクト及び本体部とメタルラス、ワイヤラス、金属板とが電気的に接触しないように取付けてください。漏電した場合、発火することがあります。 |
| | 安全のため、必ずアースを取付けてください。感電の恐れがあります。 |

| ⚠ 注 意 | |
|---|---|
| | 交流100V以外では使用しないでください。火災・感電の原因となります。 |
| | 直接炎があたる恐れのある場所や油煙・有機溶剤のある場所には取付けないでください。火災の恐れがあります。 |
| | 電源コードがいたんだりした場合は、使用しないでください。感電・ショート・発火の原因になります。 |
| | 配線工事は電気設備技術基準や内線規定に従って安全・確実に行ってください。接続不良や誤った配線工事は、感電・火災の原因になります。 |
| | 本体の取付け工事は充分強度のあるところを選んで確実に行ってください。落下によりケガをすることがあります。 |
| | グリルの取付けは確実に行ってください。落下によりケガをすることがあります。 |
| | 本体は確実に取付けてください。落下によりケガをすることがあります。 |
| | 取付けの際は必ず手袋を着用してください。けがをすることがあります。 |
| | 取付け後、長期間使用しないときは、必ず分電盤のブレーカーを切ってください。絶縁劣化による感電や漏電火災の原因になります。 |
| | 掃除の際、モーター・コンデンサー・スイッチ等の電気部品は水に浸したりしないでください。感電・故障の原因になります。 |
| | 運転中は危険ですから羽根の中に指や物を入れないでください。ケガの恐れがあります。 |
| | ご使用中に異常「回転が止まる・音が大きくなる・回転ムラ・異常な匂い・振動」等が発生したら直ちに使用をやめてください。火災や感電の恐れがあります。 |

# 各部の名称



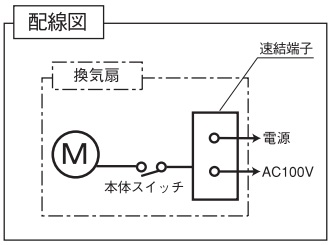



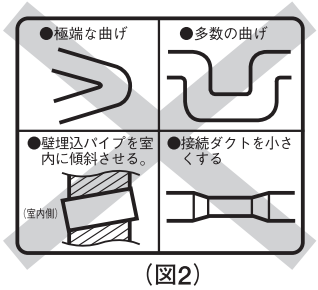

付属品
タッピングネジ　φ4×35 :2本
パッキン(風漏れ防止用):1個

# 取付時の注意

①壁からの距離を守ってください。グリルの取付け、取外しができなくなります。
②木枠や本体の固定が不十分ですと、振動や騒音などの原因となりますのでご注意ください。
③パイプは壁面より出さないでください。本体と壁面にすきまができると空気もれの原因となります。
④配線工事やスイッチの取付けは必ず電気工事店に依頼してください。
⑤電源は必ず正しく配線された(図1)単相100ボルトを使ってください。
⑥(図2)のような配管工事はしないでください。
⑦湿度の高い所に取付ける場合、必ずアースをしてください。
⑧コンクリートなどの壁穴には直接本体を取付けないでください。取付けが不十分になり、本体が落下する恐れがあります。
⑨メタルラス張り、ワイヤラス張り、または金属板張りの木造の造営物に金属製ダクト及び本体部が貫通する場合、金属製ダクト及び本体部とメタルラス、ワイヤラス、金属板とが電気的に接触しないように取付けてください。

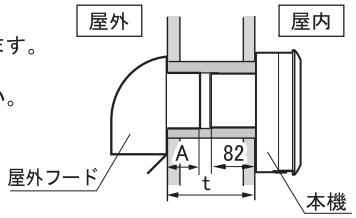



(図1)



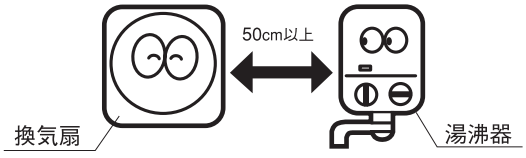

(図2)

※適合できる壁厚さ（ｔ）は屋外フードのパイプ部長さを(A)とするとｔ＝82+Aとなります。
例：屋外フードパイプ部長さが47㎜とするとｔ＝82+47＝129㎜となります。
壁厚に応じて、屋外フードのパイプ部長さを確認・選定の上、取付けを行ってください。




## 取付場所の選びかた

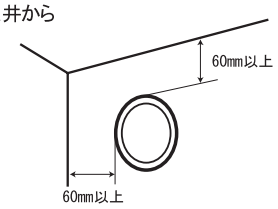
●換気扇付近の温度が40℃以上になる場所や、薬品を使う場所には取付けないでください。絶縁が悪くなり感電する恐れがあります。
●効率よく換気するため、壁に取付けてください。
●ガス湯沸器からは50cm以上離して取付けてください。



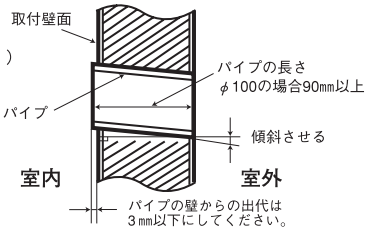
# 取付けかた

## パイプの取付

①パイプの取付穴は壁や天井から60㎜以上離してください。

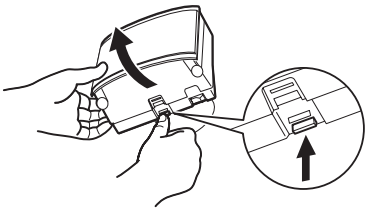



②パイプを壁に埋込む。
（パイプは必ず取付けてください。）

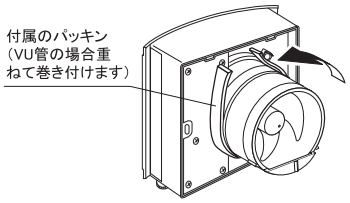



## 本体の取付け

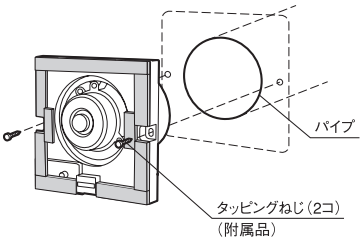
**1.** グリル下部の突起を押し、下方を引きあげてグリルを外します。



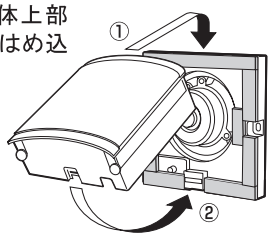
**2.** VU管（内径107mmのもの）の場合、本体筒部のパッキンの上に付属のパッキン（風漏れ防止用）を重ねて巻き付けます。
※VP管（内径100mmのもの）の場合はそのまま挿入します。



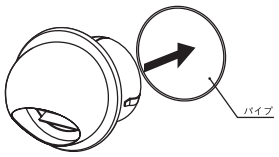

**3.** 本体をパイプに差込み付属のねじ（2本）で固定します。




**4.** グリルの上部を本体上部にひっかけ、押してはめ込みます。




**5.** 外壁面には、パイプフード、ベントキャップを取り

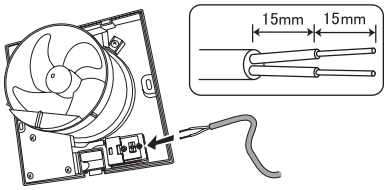



**ご注意**

特に薄壁の場合、パイプフード、ベントキャップが、換気扇本体に当たらないよう施工してください。
（パイプフード、ベントキャップは別売）

## 電源コード接続

●コネクタに電源コード（ＶＶＦφ1.6，2.0）の芯線が止まるまで確実に奥まで強く差し込んでください。




**ご注意**

●配線工事やスイッチの取付けは必ず工事店へ依頼してください。
●スイッチは必ず活線側に取付けてください。

# 試 運 転

取付工事が終わりましたら、再度結線が間違っていないか確認して正常な運転ができるか、また本体の取付けが確実で振動・異常音がないかを確認してください。

MAX マックス株式会社 住環境機器営業部
〒103-8502　東京都中央区日本橋箱崎町6-6　TEL03-3669-8112

マックスお客様ご相談ダイヤル　0120-228-428
月～金曜日（祝祭日・年末年始を除く）午前９時～午後６時